



2026年8月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年4月10日

上場会社名 株式会社アルファ 上場取引所 東 名
 コード番号 4760 URL <https://www.popalpha.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡本 悟征
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営企画室担当兼経営企画室長 (氏名) 高尾 宏和 TEL 086-277-4531
 半期報告書提出予定日 2026年4月10日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年8月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年9月1日～2026年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年8月期中間期	3,330	5.6	166	17.3	160	16.4	104	15.0
2025年8月期中間期	3,152	△1.4	141	15.0	137	16.5	90	△25.9

(注) 包括利益 2026年8月期中間期 5百万円 (-%) 2025年8月期中間期 △5百万円 (-%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年8月期中間期	129.46	—
2025年8月期中間期	112.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年8月期中間期	4,640	1,479	31.9	1,840.64
2025年8月期	4,533	1,523	33.6	1,894.31

(参考) 自己資本 2026年8月期中間期 1,479百万円 2025年8月期 1,523百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年8月期	—	0.00	—	60.00	60.00
2026年8月期	—	0.00			
2026年8月期（予想）			—	70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年8月期の連結業績予想（2025年9月1日～2026年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,600	3.7	260	10.8	250	11.5	130	1.8	161.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年8月期中間期	915,444株	2025年8月期	915,444株
② 期末自己株式数	2026年8月期中間期	111,404株	2025年8月期	111,404株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年8月期中間期	804,040株	2025年8月期中間期	804,040株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.3 「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

決算説明会の内容（動画）については、決算説明会資料とともに、2026年4月14日（火）より当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症からの回復に伴う社会経済活動の正常化により、人流の活発化や景気を持ち直しが見受けられた一方で、原材料等が高止まりしていることに加え、実質賃金も伸び悩んでいる状況にあり、また世界的な景気後退リスクや地政学リスクなどが依然あることから先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社グループはクライアントとの接触・商談件数を増加させ、メーカー・小売業のタイアップ企画である消費者向け販促キャンペーンの受注強化やPOPKITの拡販など、販促製品・サービスを組み込んだ企画・提案に注力してまいりました。

ポップギャラリー製商品におきましては、オンラインショップ（WEB受注）の売上が増加し、人流の活発化を要因とした景品を含むノベルティ需要の取り込み等に注力し、売上高は1,506百万円（前年同中間期比3.9%増）、構成比で45.2%となりました。

別注製品におきましては、前期に続き食品、飲料等のメーカーへの接触・商談件数を増加させることに加え、他業態への営業を強化し、キャンペーンを中心とした販促施策の受注獲得等に注力し、売上高は1,144百万円（前年同中間期比2.4%増）、構成比で34.4%となりました。

役務サービスにおきましては、従来からの企画料・デザイン料に加え、POPKIT個人向けサービスの契約が前期に続き堅調に推移し、事務局運営業務も前年同中間期を上回りました。更に、デジタル技術及びSNS等を利用した役務サービス施策の促進等により、売上高は679百万円（前年同中間期比16.2%増）、構成比で20.4%となりました。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は3,330百万円（前年同中間期比5.6%増）となりました。

損益面では、売上高増加による売上総利益の増加が、人件費等を中心とした販売費及び一般管理費の増加を上回りましたので、営業利益は166百万円（前年同中間期比17.3%増）、また、経常利益は160百万円（前年同中間期比16.4%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は104百万円（前年同中間期比15.0%増）となりました。

なお、当社グループは広告等販売促進用品の企画・製作及び販売等を行う事業の単一セグメントのため、セグメント情報の記載を省略しております。

（2）当中間期の財政状態の概況

① 資産、負債、純資産の状況

（流動資産）

当中間連結会計期間末における流動資産は、現金及び預金が40百万円増加したこと、商品及び製品が34百万円増加したこと、仕掛品が14百万円減少したこと等により、前連結会計年度末比52百万円増加の2,417百万円となりました。

（固定資産）

当中間連結会計期間末における固定資産は、有形固定資産が21百万円増加したこと、無形固定資産が25百万円増加したこと、投資その他の資産が7百万円増加したことにより、前連結会計年度末比54百万円増加の2,222百万円となりました。

（流動負債）

当中間連結会計期間末における流動負債は、短期借入金が420百万円増加したこと、電子記録債務が85百万円減少したこと等により、前連結会計年度末比298百万円増加の2,253百万円となりました。

（固定負債）

当中間連結会計期間末における固定負債は、長期借入金が150百万円減少したこと等により、前連結会計年度末比149百万円減少の906百万円となりました。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産は、利益剰余金が55百万円増加したこと、退職給付に係る調整累計額が102百万円減少したこと等により、前連結会計年度末比43百万円減少の1,479百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ40百万円増加し、548百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間において、営業活動の結果使用した資金は130百万円（前年同中間期比76百万円増）となりました。これは、税金等調整前中間純利益が163百万円となったことや、退職給付に係る資産の増加額162百万円、棚卸資産の増加額21百万円、仕入債務の減少額94百万円、その他の負債の減少額37百万円等があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間において、投資活動の結果使用した資金は50百万円（前年同中間期は45百万円の獲得）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出28百万円、無形固定資産の取得による支出24百万円等があったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間において、財務活動の結果獲得した資金は220百万円（前年同中間期は21百万円の使用）となりました。これは、短期借入金の純増加額420百万円、長期借入金の返済による支出150百万円、配当金の支払額48百万円があったことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年10月10日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (2026年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	909,331	949,852
受取手形、売掛金及び契約資産	940,163	938,958
商品及び製品	419,312	453,763
仕掛品	42,287	27,669
原材料及び貯蔵品	6,155	7,465
その他	52,822	44,982
貸倒引当金	△4,367	△4,791
流動資産合計	2,365,706	2,417,900
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	72,125	79,023
土地	557,620	557,620
その他（純額）	3,152	17,812
有形固定資産合計	632,898	654,456
無形固定資産		
投資その他の資産	20,619	45,982
退職給付に係る資産	1,399,886	1,405,599
その他	114,665	116,303
貸倒引当金	△108	△107
投資その他の資産合計	1,514,444	1,521,795
固定資産合計	2,167,962	2,222,235
資産合計	4,533,668	4,640,135
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	345,632	337,176
電子記録債務	247,947	162,203
短期借入金	677,222	1,097,222
1年内返済予定の長期借入金	301,992	301,992
未払法人税等	4,812	2,400
賞与引当金	45,230	54,890
その他	331,727	297,355
流動負債合計	1,954,564	2,253,239
固定負債		
長期借入金	565,656	414,660
退職給付に係る負債	1,375	1,321
繰延税金負債	488,794	490,787
その他	180	180
固定負債合計	1,056,005	906,948
負債合計	3,010,569	3,160,188
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	723,305	723,305
利益剰余金	219,977	275,827
自己株式	△264,437	△264,437
株主資本合計	778,845	834,695
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,414	8,717
退職給付に係る調整累計額	738,839	636,533
その他の包括利益累計額合計	744,253	645,251
純資産合計	1,523,098	1,479,946
負債純資産合計	4,533,668	4,640,135

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)
売上高	3,152,744	3,330,668
売上原価	1,889,972	2,020,453
売上総利益	1,262,771	1,310,214
販売費及び一般管理費	1,121,214	1,144,120
営業利益	141,557	166,094
営業外収益		
受取利息及び配当金	393	557
受取地代家賃	1,137	1,125
助成金収入	—	1,294
その他	1,190	436
営業外収益合計	2,721	3,414
営業外費用		
支払利息	6,306	9,151
その他	204	0
営業外費用合計	6,510	9,151
経常利益	137,768	160,357
特別利益		
固定資産売却益	152	2,974
特別利益合計	152	2,974
税金等調整前中間純利益	137,920	163,332
法人税、住民税及び事業税	2,400	2,400
法人税等調整額	45,009	56,839
法人税等合計	47,409	59,239
中間純利益	90,511	104,092
親会社株主に帰属する中間純利益	90,511	104,092

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)
中間純利益	90,511	104,092
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,499	3,303
退職給付に係る調整額	△97,720	△102,305
その他の包括利益合計	△96,220	△99,001
中間包括利益	△5,709	5,090
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△5,709	5,090
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	137,920	163,332
減価償却費	5,692	9,581
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	649	423
賞与引当金の増減額 (△は減少)	7,890	9,660
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△136,461	△162,864
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	79	△53
受取利息及び受取配当金	△393	△557
支払利息	6,306	9,151
有形固定資産売却損益 (△は益)	△152	△2,974
助成金収入	—	△1,294
売上債権の増減額 (△は増加)	79,333	1,204
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△45,529	△21,142
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,018	△94,199
その他の資産の増減額 (△は増加)	△4,701	9,477
その他の負債の増減額 (△は減少)	△95,195	△37,586
小計	△43,543	△117,843
利息及び配当金の受取額	395	562
利息の支払額	△6,432	△9,681
助成金の受取額	—	1,294
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△4,778	△4,730
営業活動によるキャッシュ・フロー	△54,358	△130,398
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,551	△28,542
無形固定資産の取得による支出	△1,055	△24,968
有形固定資産の売却による収入	152	2,974
投資有価証券の償還による収入	50,000	—
差入保証金の回収による収入	566	251
その他	△860	252
投資活動によるキャッシュ・フロー	45,251	△50,033
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	50,000	420,000
長期借入れによる収入	100,000	—
長期借入金の返済による支出	△131,002	△150,996
配当金の支払額	△40,112	△48,051
財務活動によるキャッシュ・フロー	△21,114	220,952
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△30,221	40,520
現金及び現金同等物の期首残高	642,896	508,331
現金及び現金同等物の中間期末残高	612,675	548,852

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

前中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日) 及び当中間連結会計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)

当社グループは広告等販売促進用品の企画・製作及び販売等を行う事業の単一セグメントのため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。